

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センターこくま園		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 18日		2024年 12月 13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	210名	(回答者数) 156名
○従業者評価実施期間	2024年 12月 1日		2024年 12月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	22名	(回答者数) 17名
○事業所向け自己評価表作成日	2025年 1月 8日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもの特性に合わせた支援	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の得意、不得意や学習スタイルを評価し、お子さんにあった支援を実施している。 一目見てわかるよう、視覚支援を取り入れ、自分で確認し、いろいろな場面で使えるようにしている。 コミュニケーションが取りやすくなるような支援(PECSなど)を取り入れている。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も研修や交流会などに積極的に参加し、職員のスキルアップにつなげて、よりよい支援ができるようにしていく。
2	保護者への対応	<ul style="list-style-type: none"> 毎回療育の終わりにお子さんの様子や特性を保護者と共有している。 保護者グループを実施し、助言や学習会、就園や就学に向けての情報提供を行い、保護者からの相談や質問にも適時対応している。 	<ul style="list-style-type: none"> 危機管理マニュアルなど非常時の避難や対応についての周知が十分ではなかったため、保護者グループや掲示物を通して広く周知していきたい。 (次年度から保護者向けマニュアルを作成し、重要事項説明書の説明時に配布予定。)
3	環境・設備	<ul style="list-style-type: none"> 令和6年1月にCOCO・てらす3階に移転し、設備が新しくなり、過ごしやすくなった。 どこで何をするのがわかりやすいよう、活動ごとに部屋を変えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 療育室が限られているため、部屋の使い方を工夫したり、COCO・てらすの共有スペースを活用するなど、有効なスペースの使い方を考えていきたい。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者への周知 ・活動概要や行事予定、連絡体制などの情報を発信すること	<ul style="list-style-type: none"> HPのお知らせはしているが、浸透しきっていない。 グループ数が多いため、活動内容はグループごとに知らせているが、実施できていないグループもある。 	<ul style="list-style-type: none"> HPのURLはロビーに掲示しているが、再度保護者グループで案内する。 全てのグループで療育の活動内容を月ごとに掲示してお知らせする。
2	家族への支援(保護者会、きょうだい支援)	<ul style="list-style-type: none"> 保護者同士の交流の機会は設けているが、きょうだいの交流などのイベントは開いていない。 	<ul style="list-style-type: none"> イベントの開催は難しいが、療育内で参加可能な活動はきょうだい児も一緒に参加できるよう検討していく。 今後もきょうだいや家族についての相談は随時実施していきたい。
3	保育園や幼稚園などほかのこどもとの交流	<ul style="list-style-type: none"> こくま園の形態では交流や連携が難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> こういった形であれば可能かを今後検討していく。